

学 習 計 画		(科目名 国語表現)
学 期	学習項目	学習内容・方法
第 1 学期	<p>「漢字と日本文化」 (投)仮名と漢字の使い分け 文体の使い分け 「推敲のしかた」 (投)文体の使い分け あいまいな表現・文の乱れをなくす 表現を工夫する 接続語句と指示語</p> <p>「プレゼンテーションの必要性」</p> <p>「紹介文・宣伝文を書く」</p> <p>(投)紹介の文章を書く 感じたことを言葉で表現する 情景を言葉で表現する</p>	<p>日本語の歴史を理解し、大和言葉や漢語を適切に使い分ける態度を養う。 仮名と漢字を適切に使い分けた文章が書けるように、平仮名で書く方が望ましい語句や漢字で書くべき語句について理解する。また、相手や目的に応じて、適切な文体で書くことができるようにする 表現技法の表現効果について理解する。 表現のしかたを工夫して文章を書く姿勢を身につける。</p> <p>プレゼンテーションの目的と効果を理解する。プレゼンの基本的な進め方について理解し、学校生活の中でプレゼンが必要な場合について考察する。 紹介文・宣伝文の必要性を理解し、留意点をふまえて、紹介文を書く。書いた文章をもとに発表する。 紹介する事物について知らない人にも理解できるような文章を書けるようにする。 写真・情景などを見て感じたことをもとに想像し、そこから生じた思いを表現する。</p>
第 2 学期	<p>「記録文」 (投)材料を集める 主題をまとめる 組み立てを考える 「アンケートで実態を調査する」 「情報の収集と整理」 「意見文を書く」 「時間の見方を変えるとき」</p>	<p>記録文とはどのような文章か、記録文の表現方法を理解し、自分の表現に役立てる。 材料を集めるための発想の方法を学ぶ。 主題を決め、文章構成の方法を学び、効果的に文章を組み立てる。 アンケート調査の方法を身につけ、実際にアンケート調査を行う。 意見文の書き方をふまえ、意見文を書く。 意見文を書いたり他の人の意見文を読んだりすることにより、ものの見方や考え方を広げる態度を養う。 意見文を読み、その構成や論証のしかたを、自分の表現に役立てる。 意見文を読み、ものの見方や考え方を広げる。</p>
第 3 学期	<p>「意見文に反論してみよう」</p> <p>「日本語の特徴」</p> <p>「トカ弁 婉曲表現の現在」</p> <p>(投)「与えられた課題で文章を書く」</p>	<p>意見文を読み、それに対して反論する立場から意見文を書く。</p> <p>日本語の特徴を、英語との比較を通して理解する。</p> <p>日常的によく使われている表現の分析を通して、その背後にある心理を理解する。 日常的に使っている表現の分析を通して、自らの言語生活を振り返る。</p> <p>課題の意図に即した、わかりやすく、読み手をひきつける文章を書けるようにする。</p>

